

みつぎ便り

146号
11月号

板橋区役所みどりと公園課の花づくりグループと
エコポリスセンターの環境観察員地域自主活動グループに
所属しているボランティア団体「見次の会」です

平成30年11月1日 https://itbs-ecopo.jp/environsurvey_report



アオサギ

アオサギは日本中で見られる鳥で、首や脚が細長く、体長が1メートル近くもある大きな鳥です。背中や羽が青みがかつた灰色で、両羽を広げるとヒトの背丈程にもなり、ゆつくり羽ばたいて、優雅に飛んでいます。

灰色なのに何故「アオサギ」なのでしょう。それは、日本では黒っぽい灰色を「アオ」と表現していたこともあり、そこから「アオサギ」と呼ばれるようになったとも言われます。

ています。

干潟や川の浅瀬で、魚や昆虫等を捕まえ、小鳥を食べることもあります。その捕食動作は単独で行い、時間をかけてじっくり身構えてから、素早く鋭いくちばしで捕らえ、丸飲みにしてしまいます。

見次公園には今年の夏に数日間、立ち寄ってくれました。今度は、いつ、来てくれるでしょうか。
(静)

夕風や 水青鷺の

脛(はぎ)をうつ

蕪村

ハゼラン (爆蘭)

公園の上を見上げると枯れ葉が目立ち秋の深まりを感じます。今回は首都高速道路側交差点近くにある、円形花壇の裏に生えている、ハゼランという野草を紹介します。

ハゼランは、別名がたくさんあり、三時の天使、江戸の花火、星の雫など、良くもまあ別名の多い花だなと感心します。

この花は、ピンクの五枚の



花卉があり、径5ミリほどの小さな花をつけます。午後の二時間程しか咲かず、丸い蕾の時間が殆どであることから線香花火のようにも見えます。こんな花の様子から、上記のようなたくさんの別名があるようです。

明治の頃に南米から渡来したもので、当初は鑑賞用に栽培されていたが、今では野生化してどこでも見られるようになりまし。ハゼラン科の多年草なので、花の開花後にできる小さな赤い実の中にも来る種を採取して、家庭でも鑑賞して見てはいかがでしょうか。
(圭)